

# みんなで駆除しよう！

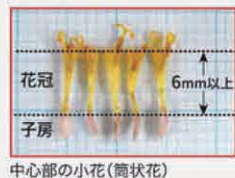
## オオキンケイギクは特定外来生物です！

「オオキンケイギク」は北アメリカ原産のキク科の多年草で、環境省が特定外来生物に指定している植物です。5月から7月にかけて開花し、繁殖力が強く、在来の植物を駆逐するなど環境に悪影響を与える恐れのある植物です。所有地などに繁茂しているオオキンケイギクは、種ができないうちに刈り取るか、根こそぎ引き抜いてください。生態系を守るため、皆様のご協力をお願いします。

### オオキンケイギクの見分け方

#### 花

小花が集まった頭状花で、直径は5～7cm。花びら(舌状花)はオレンジ色で、先は不規則に分かれます。八重咲きの品種もあります。



#### 種子(果実)

扁平で翼があります。ひとつの頭状花からたくさんの種子ができて、飛び散ります。

3mm以上



#### 開花期 5～7月

暖かい地域では、5月初旬に咲きはじめます。

#### 結実期 6～9月

群落が満開の頃には、すでにたくさんの種子ができています。

#### どこに生えているの？

道ばたやのり面、河川敷、空き地など、日当たりの良いところに群落をつくります。

#### 茎葉

葉の柄は短く、多くの場合、対になっています(対生)。



30～70 cm

#### 根生葉(根元の葉)

生えはじめは細長いへら状で、成長が進むにつれて3～5枚の小葉に分かれます。花時には枯れていることもあります。



### ルールを守って、みんなで駆除活動を

その場で枯らせる場合



### 駆除するときに気をつけること

#### 種子を落とさない

種子は土中で何年も生き残る  
地面に落とさないようにしましょう。種子をつける前の花の咲き始めまでに駆除するのが一番良いです。

#### 継続的に駆除する

根絶には時間がかかります  
駆除した後も根や種子が残っているので、翌年も生えてきます。毎年根気よく続けることが効果的です。

### 駆除する理由

繁殖力が強いので、日本に昔からある植物を駆逐してしまいます。

